

# 次期堺市教育振興基本計画

# 目次



1 策定の趣旨と次期計画の位置付け

2 次期計画策定に向けた本市の取組

3 次期堺市教育振興基本計画の体系について

4 次期堺市教育大綱との整合性



# 策定の趣旨と次期計画の位置付け

## 策定の趣旨



#### 趣旨

教育基本法第17条第2項に規定する教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、 本市の教育の充実に向けた基本的な方向性を示す。

#### (参考)教育基本法第17条第2項

「地方公共団体は、前項の計画(※)を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。」

※前項の計画:国が定める教育振興基本計画。第4期計画が令和5年度に閣議決定された。

# 計画期間 令和8年度 令和12年度 • 5年間 • 社会状況の変化等に応じて、 随時、取組の見直しを行う。

### 計画の範囲

学校における教育を軸として、家庭、地域社会も含めた教育に 関わる取組を範囲 家庭 関係機関等

学校

地域社会

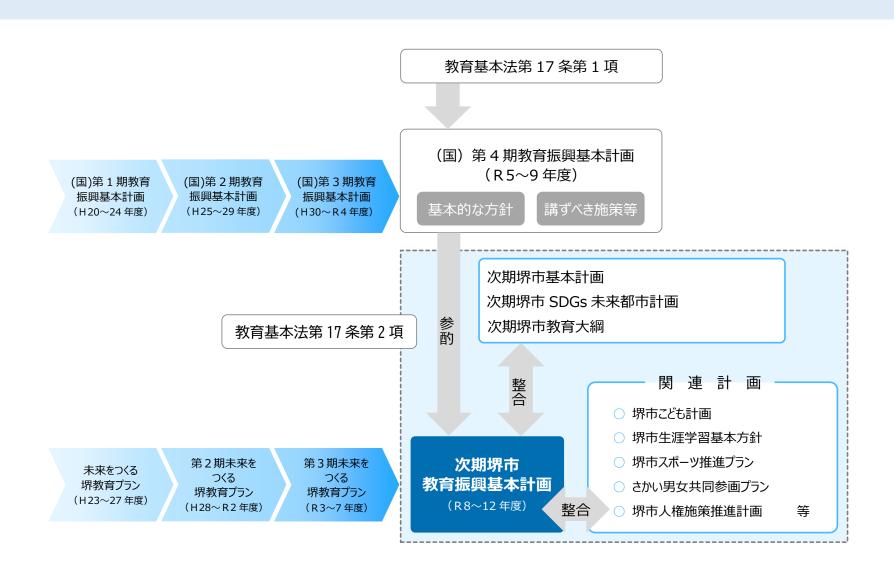
関係機関等

企業等

## 次期計画の位置付け

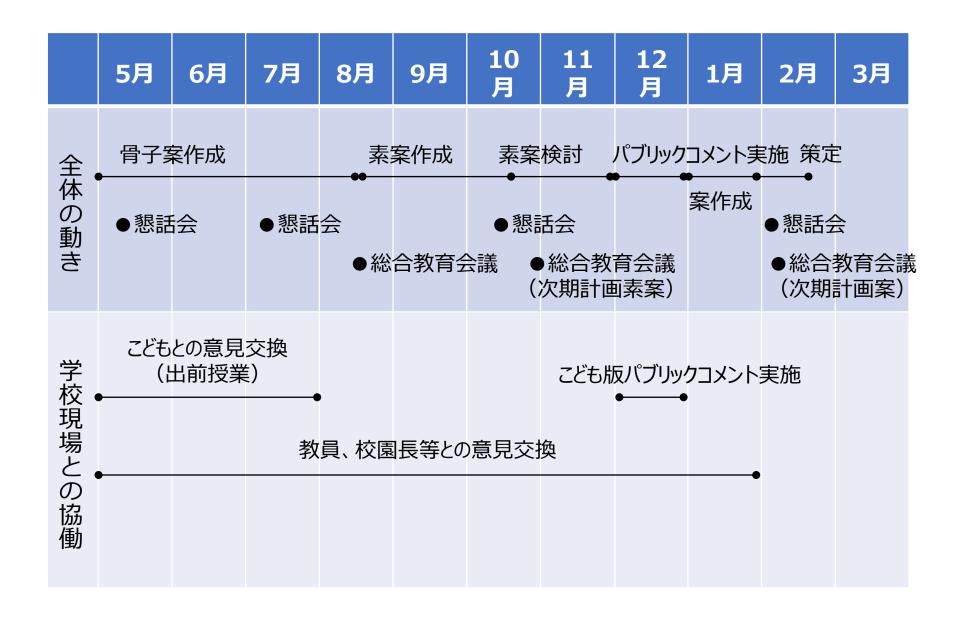


国の第4期教育振興基本計画を参酌し、堺市教育大綱や堺市基本計画等との整合を図る。



### 次期計画策定スケジュール







# 次期計画策定に向けた本市の取組

### 次期計画策定に向けた取組



# 次期計画策定に向けたコンセプト

こどもを含む本市教育に携わるすべての人が、市の教育を**自分事**と捉え、**次期計画で示す教育ビジョンを** 納得、共通理解した上で、主体的・協働的に教育活動に取り組めるようになることをめざす。

#### 第3期プラン策定時

#### く庁内委員会>

- •代表校園長(4名)
- •教育委員会事務局
- •市長公室
- ·市民人権局
- ・子ども青少年局
- •健康福祉局



#### <懇話会>

•有識者(7名)



# 新たな取組を加え拡大



## <学校現場> NEW

- ・こども(生徒会の集い、出前授業)
- ・校園長(校園長会での報告)

教職員、教委事務局

ワーキンググループ(WG)

く庁内>

·**庁内全局**(照会)



**NEW** 

# <懇話会>



·有識者(10名)

懇話会との関連イメージ図

意見交換の内容を土台として 懇話会の議論につなげる

現場局

懇話会

(庁内)

## 次期計画策定に向けた本市の取組(1)



### こどもの意見の取り入れに関する取組

# 目的

- ・こども基本法の観点(下記参照)から、市内の児童・生徒の意見を次期計画に取り入れる。
- ・児童・生徒が次期計画をより"自分事"として捉え、自分たちが受ける教育について主体性をもつ。



・令和7年1月実施の「生徒会リーダー講習会」にて、生徒会代表生徒が意見交換。



·令和7年度、希望校での出前授業を実施。

# 議題

・次期計画に関わる分野から議題やテーマを設定して取り組む。

ワークショップ型の グループ協議



次期計画に関わる分野	<b>議題 テーマ (例)</b>
授業改善·学力向上	「好きな学び方、好きな授業」など
ICTの利活用(教育DX)	「児童生徒用PCを使ってできること、したいこと」など
人権教育·不登校対応	「みんなが安心して通える学校に必要なことは?」 「これからの学校の通い方」など

#### (こども基本法 第一章総則 第三条より抜粋)

三 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。

四 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されること。

#### 第3期未来をつくる場数音プラン



#### 堺教育プランって何のこと?

堺市の教育の方向性について書かれているもの。 今の時代にどういったことを学校で学んだらいいのか、ど んな教育が必要なのかを示し、市内のどこの学校でも同じ 目的をもって授業などの教育活動ができるように作られて います。

よくわからへんなあ。 どういうことが書かれている?



堺市の教育が大事にしているところや、目標が書かれてい ます。その目標を達成するための取組、たとえば、「ICT を 活用した授業改善」や、「学校のトイレや空調などの施設 整備」、「安全・安心でおいしい給食の提供」な+ど、授業 だけでなく、学校に関わる様々な取組が書かれています。

#### 今の堺教育プラン 令和3年度~7年度

現在は 2026 年からは じまる次のプランを作 っている最中です。様々 な方の意見を聞く中で、 実際に授業を受けてい る生徒のみなさんにし かわからない視点から の意見も取り入れ、みん なにとってよりよい学 校、授業、教育活動をめ ざしています。



#### 活動の流れ

#### 事前課題

事前課題として、議題に基づく2つの質問について、それぞれ 2テーマずつ、針4つの質問に対する意見を teams を使って、 共有しました。

例)議題「みんなが『わかる』『できる』ようになる授業とは」 →①「私の学校の楽しい授業・学びになる授業」②「授業や勉」 強が「わからない」・「できない」時の私の対処法

#### 教育長への質問

当日はまず関百合子教育長と質疑応答。「教育長という仕事の やりがいとは」「ICTのよりよい活用とは」「堺市に来てよかっ たところは」「なぜ義務教育は中学校までなのか」「6月からは じまる給食で楽しみにしているところは」など、質の高い質問。 教育長からは深く、かつわかりやすい回答をいただきました。 リーダーフォーラムに向けての気持ちがぐっと高まりました。

#### グループ協議



事前課題の内容をもとに、それぞれ2つの議題について意見交 換をしました。「うちの学校では~」と、学校代表として、堂々 と意見を言い、そして教育長からのお話にもあった「対話」を 意識して、互いの意見を真摯に受け止め合っていました。「時間 が足りない!」という声もよく聞こえるくらい、一生懸命に堺 市の教育について協議しました。

#### まとめの作成

2つの議題から1つ選んで、模造紙でまとめを作成。時間がな い中、構想を練り、役割を分担し、時間内で可能な範囲、かつ 内容が深くなるように議論も続けながら、作成していました。 互いに「字がきれい」、「それいいな」などとポジティブな声か けをしながら、和気あいあいと作成しました。最後は、グルー プごとの発表も行い、充実した時間となりました。

#### 2025年1月 リーダー講習会 リーダーフォーラム

参加生徒(各校生徒会代表生徒)計16名

A グループ

殿馬場中学校 浜寺南中学校

長尾中学校 登美丘中学校 泉ヶ丘東中学校(A)

Bグループ

さつき野中学校 津久野中学校 宮山台中学校

金岡南中学校 泉ヶ丘東中学校(B)

Cグループ

大泉中学校 美木多中学校 月州中学校

晴美台中学校 圖中学校

牛徒会リーダー講習会実施内容



#### 目的

次期教育プランに 自分たちの意見を反映させる 自分たちの受ける教育に 主体性を持つ





#### 自分たちの教育は自分たちで作る!

みんなが「わかる」「できる」ようになる複雑とは

学校でICTを使ってできること、したいこと

一人ひとりが安心して通える学校とは

#### 考えたことや意見

#### みんなか「わかる」「できる」ようになる抽象とは

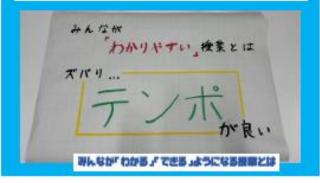
簡潔にまとまっている 小話等を途中で入れてくれる たとえ話があると分かりやすくなる 一人だけで進めるのは記憶に残りにくい 勝手に一人でしゃべっている先生の授業は嫌だ パワーポイントや授業の構成がうまい先生の授業

#### 学校でICTを使ってできること。したいこと

月一タイピングマッチ ドリルパークみたいな教育系のアプリを入れる テストで偏差値を出してほしい パワーポイントを使っての調べ学習 ホワイトボード機能等を使っての授業 調べたことをパワーポイントで資料作り

#### まとめ

普段受けている「わかりやすい」授業について 協議していく中で、「テンポ」が大切だと意見が 一致しました。多くの先生の授業が「楽しい」「わ かりやすい」という前提のもと、パワーポイント のアニメーションを適切な長さに設定したり、 たとえ話や小話が長くなりすぎないようにした り、適度に質問を生徒に投げかけたりしてくれ ると、授業がよりわかりやすくなる。とまとめま Lt.



#### 考えたことや意見

#### 学校でICTを使ってできること、したいこと

自分で調べる能力 情報共有よき 紙を使った授業は PC より信用がある 数学だと図形の動きがわかりやすい 自分で考える時間が減ってしまう 提出物が楽 個人情報の漏洩 紙の方がいつでも使える 紙の万かいっても反った 授業と関係のない利用

#### 一人ひとりか安心して過える学校とは

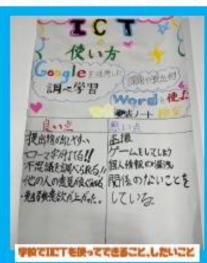
気軽に相談したい 他人と比べてしまう 自分はどう思われているのか

#### まとめ

中学生の、ICTの活用方法について考え、その 中で良い点、悪い点について整理しました。

調べ学習で使用したり、課題や提出で使った り、発表ノートを用いた発表をしたり、様々な形 で使用しています。良い点として、ICTによって

提出物が出 しやすくな った、ローマ 字が打てる ようになっ た、不思議を 自由に調べ られるなど ある反面、不 要、不適切な 使い方を止 めたいとい 話していま した。



#### 考えたことや意見

#### みんなが「わかる」「できる」ようになる機能とは

孤立してしまう生徒には先生と一対一で話せ るような状況づくりが大事? 自習室でわからないところをカバー 基礎固めのための放課後の自習時間 クラスの学力差→話しにくい環境 互いに協力したり質問ができる環境 クラス数が多いと仲の良い子で固まってしまう

#### 一人ひとりか安心して研える学校とは

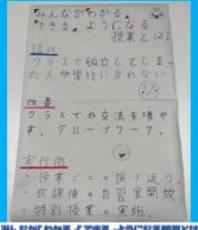
一つでも居場所を作ってあげることが大事 一度タイミングを逃すとうまく戻れない 定期的に他クラスとの交流→クラス替えに対応 転校生にも配慮した環境づくり

#### まとめ

「クラスで孤立すると学校から離れてしまい 勉強についていけなくなる」という現状を、どの ような改善・取組ができるのかまとめました。

改善としては、クラスでの交流や、グループワ ークを増やしてほしいと意見しました。

具体的に は、特別授 業や自習室 の開放など があれば、 より多くの 人と交流す ることがで き、孤立を 滅らし、勉 強もがんば れるのでは ないかとま とめまし



みんなか「わかる」「できる」ようになる観覚とは

# こどもの意見の取り入れに関する取組



### 出前授業



# 目的

- ・こども基本法の観点から、市内の児童・生徒の意見を次期計画に取り入れる。
- ・児童・生徒が次期計画をより"自分事"として捉え、自分たちが受ける教育について主体性をもつ。

# 実施校

6月11日	赤坂台小学校(小学6年 2クラス)
6月19日	少林寺小学校(小学6年 1クラス)
6月20日	土師小学校(小学6年 2クラス)
6月25日	浜寺小学校(小学6年 委員会)

7月1日	受美丘東小学校(小学6年 2クラス)
7月4日	錦西小学校(小学6年 2クラス)
7月15日	美原北小学校(小学6年 3クラス)
7月16日	庭代台小学校(小学6年 2クラス)
7月17日	福泉中央小学校(小学5年 2クラス)

それぞれの学校の先生方と打ち合わせをし、 それぞれの児童にあった授業を計画・実施

# こどもの意見の取り入れに関する取組



### 出前授業の流れ

# 例 いくつかの小さな問いについて考える、議論する





- ・教育委員会の仕事について
- ・教育プランについて



議題について、考える



- ・グループで意見を深める る
- 意見をまとめる



ふりかえりを書く

#### **議題例**(課題は担任の先生と協議をして決定)

- ・やる気が出る授業はどんな授業?・どんな宿題がならやりたくなる?・どんな給食がいいのか
- ・みんな(堺市の児童)がそれぞれ自分の学校をもっと好きになるために、どんなことができるかな?

すべての意見がかなうわけではないが、様々な意見があるからこそ対話が必要だということ、自分たちの未来を自分たちで作っていくために、意見を持つことやそれを伝えることが大切だということを知る。

#### ① 「勉強がんばろう!」とやる気が出る時



だったら自分たちで調べてまとめたり

する。

#### どんな時「勉強がんばろう!」とやる気が出てくる?

·ゲームやクイズがある時	・ご褒美をもらえる時	・図工(作る系)がある授業や自由時間がある
·ほめられた時	・自分の考えたものが採用された時	・分からない問題が分かるようになった時
·発 <mark>表しあう授業</mark>	・パソコンを使ってする授業	・問題や課題がすごく理解できた時
・将来役に立つ授業	・インターネットを使って調べる授業	・みんなで協力して何かを作り上げる授業
- 47キャサジのRE		

#### 「自分で進めていく学び」と「教えてもらう学び」について

方が好きだから。

自分で進めていく学び	教えてもらう学び	どちらもいい
・今は教えてもらう授業が多いから 分で調べる授業も増やしてほし、 ・自分が気になったときに、好きなに勉強をすすめたいから。 ・自分の思った通りに進められるか ・先生の話を聞いて黒板を写すだだったら自分はそんなに考えかで でいける授業だったらすべて自分 考えるからそっちの方が大変だり 勤強になると思うし、自分はそっ	から。 よう ◇先生に教えてもらう方が失敗しない から。 けっか 進め かで けど	・分からない時は教えてもらえると新しいことが分かるけど、自分で分かる時には自分ですることもしたい。 自分たちだけじや解決できない問題もあるし、自分の意見をしっかり伝える場面が少ないから。 ・考えて分からなかった教えてもらう。 ・自分でするときとわからない時は先生に教えてもらう。 ・算数だったら、わからなかったりしたら先生に教えてもらう。

#### ② 学校や教室にあったらうれしいもの·安心するもの

安心・安全	設備(せつび)	娯楽(ごらく)
廊下に周りが見えない一人の空間	各階に保健室	ボードゲーム
車いす用のスロープを階段に設置	トイレがきれいになったらうれしい	図書館にマンガを置い <mark>てほしい</mark>
運動場に緊急用ボタン	水道の温度調節	冷凍庫(氷がほしい)
<mark>温</mark> かい便座	室内で遊べる場所	ウォーターサーバー・自動販 <mark>売機</mark>
温水プール	図書館に本をもっとおいてほしい	生き物とふれあえる場所
すず <mark>し</mark> い体育館	黒板がテレビになったり、ホワイト	室内植物園
エレベーター	ボードになったりする 	コンビニ
廊下に矢印 寝る場所・ソファー		通学路ビンゴ

# ③ みんながそれぞれ自分の学校をもっと好きになるために

出前授業 意見まとめ

みんながもっと好きになる学校

<mark>電</mark>子黒板を置く 友達との交流を増やす グループでの交流を増や<mark>す</mark>

みんなが言いたいことを言える環境をつくる 授業をゲームのようにする。

宿題や勉強をしたら、ご褒美をもらえる 休み時間を長くする 得意な教<mark>科を増やしていく。</mark>

色んな人と関われるようになるために週に1回、席替えをする 自転車での登下校

相談しやすい環境をつくる お楽しみ会を3日に1回 給食にデザートが出る

一人ひとりの長所や短所を理解して、一人ひとりに声掛けをしてくれる先生がいてくれたらいい

学校に来たら1日1回シールがもらえて枚数に応じてご褒美がもらえる(例:宿題がなくなる)

職員室の前に1日1回スタンプを押して1ヶ月たまると図書カード100円分をもらえる

<mark>人</mark>それぞれ勉強が苦手とかあるから、部屋を別にして苦手な子が授業を理解できるように<mark>部屋を作る</mark>







#### ふりかえり・感想(1組・2組)

- ◇自分の思っていたことをいうことができたし、一人一人の思っていることが違うから面白かったし、楽しかった。
- ♦今日はみんなの意見を聞いたりするのが知れてよかったし、楽しかった。今日は色々なことを知れた!!
- ◇学校はみんなのところだから、みんなの意見を聞くのは大切だと思った。
- ◇みんな、自分だけのことを考えるのではなく、みんな楽しいと思える事を考えていたからとてもいいと思いました。
- ◇もしこんなことが実現したらいいなとか、してくれたからこれが実現したら堺のいろいろな学校がよりよくなると思う。
- ◇学校がよりよくなったら、来るのが楽しくなるし今日の授業で自分の思いを伝えることができたからよかった。
- ◇自分の思いを堺市教育委員の人に言えてすごい体験だった。
- ◇これからもっと堺市の教育がよくなってくると思い安心した。
- くてれなっとからいの数目からくなってくると心を、女へした。
- ◇できないものもあるけど、できそうなものを考えてやってくれるからすごいと思った。すごい楽しかった。
- ◆今回の授業は自分の思いを伝えられるような感じで楽しかった。自分はいつも発表したいけど自信がなくてできないことがあるため、自分の思いや考えが伝わるとうれしい。
- ◇このみんなの考えが叶ったらいいと思うし、自分なりの考えを否定せずに聞いてもらえてうれしかったです。
- ♦いつもの授業では考えないことを考えれて楽しかった。
- ◇事務局の人はみんなのために色々な工夫をしていたりしていてすごかったし、これからもっと学校を楽しみたいと思った。

#### (1)「勉強がんばろう!」とやる気が出る時



#### どんな時「勉強がんばろう!」とやる気が出てくる?

授業が楽しい時	明日テストがある時	勉強についてほめられた時
勉強がおもしろそうな時	字をきれいに書けた時	分からない問題が分かるようになった時
テストでいい点が取れた時	問題が簡単そうだった時	友だちに、はげましてもらえた時
勉強が分からない時	友だちにテストの点をこされた時	問題の内容がしっかりわかった時

#### 「自分で進めていく学び」と「教えてもらう学び」について

自分で進めていく学び	教えてもらう学び	どちらもいい
・自分でやったほうがやる気が出る 自分で問題を解けたら達成感が から・集中しやすいから・一人でやる方が達成感がある ・自分からチャレンジして達成感が ・自分のペースで勉強できるから・理解ができた時楽しいから。 ・自分のペースでできるしきちんとな らないところも調べるから。	5 5 5	・自分でやる時、正解したときの気持ち よさがあるし、わからない問題があっ た時は質問する ・やり方を知っている時は自分でできる し、分からない時には、やり方を知り たい ・自分では分からない問題や意味が分 からない時は、教えてもらいたいけど、 ぱって答えが出た時や自分で図を書 いたりするときは自分でやりたい ◇できる問題は自分で努力、わからな い問題があったときは教えてもらう

#### ② 学校や教室にあったらうれしいもの·安心するもの

安心・安全	設備(せつび)	娯楽(ごらく)
全部の階に保健室	すべり台(2名)	室内で遊べるところ
相談室	加湿器	野球ができるところ
教室の机に区切りがあるといい	タブレットじゃなくてスマホ	
教室にメダカがいたらうれしい	階段にエスカレーターが欲しい。	運動場にアスレチック(ブランコ)
メダカに愛着を持つとメダカのため に教室も落ち着くし、生き物が近くに	温かい便座(べんざ)	体育館に大きいトランポリン
いたら楽しそうだから。	運動場に日陰をつくってほしい。	雨の日用のボードゲーム
お花や生き物 休み時間になるといつも走っている し、リラックスできるから。 休憩場(教室にソファー)	ウォーターサーバー	プールにスライダー 室内に温水プール
NINGS (METICAL)		

#### ③ みんながそれぞれ自分の学校を もっと好きになるために

山子+\*\*\* 辛日+22

#### 出前授業 意見まとめ

みんながもっと好きになる学校

休み時間を増やす 給食の時間を増やす 修学旅行を選べる

文化祭 行事ごとを増やす(遠足を増やす)選択肢をもらえてそれで決める

勉強が苦手な人でも楽しめる環境を作る 苦手な人の意見も尊重する

もっと授業而白くする班をつくってみんなで勉強する 授業をゲームみたいにする

お楽しみ会みたいな時間を何日に1回とか決めると学校に少しでも行こうと思う

今日だけ休み時間が長くなったり、少し早く帰れるイベントみたいな日を作る。

笑えて毎日が楽しい授業を送れるイベントなどがある学校 好きなイスを使える

好きな高さの机を使える おやつタイムを作る 授業の内容を選べる

テストの点数によってポイントとかもらえて、そのポイントを文房具とかに交換できる

修学旅行の行先を投票で決める(修学旅行2泊3日) 好きな給食(給食バイキングをする)

一つの科目だけでいいから、それぞれの理解度に合わせたクラス分けをして、それぞれの理解度に寄り

添えるようにする。 勉強でわかんなかった問題や相談などを気軽にできる空間







#### ふりかえり・感想(1組・2組)

- ◇自分の思っていたことをいうことができたし、一人一人の思っていることが違うから面白かったし、楽しかった。
- ◇今日はみんなの意見を聞いたりするのが知れてよかったし、楽しかった。今日は色々なことを知れた!!
- ◊学校はみんなのところだから、みんなの意見を聞くのは大切だと思った。
- ◇みんな、自分だけのことを考えるのではなく、みんな楽しいと思える事を考えていたからとてもいいと思いました。
- ◇もしこんなことが実現したらいいなとか、してくれたからこれが実現したら堺のいろいろな学校がよりよくなると思う。
- ◇学校がよりよくなったら、来るのが楽しくなるし今日の授業で自分の思いを伝えることができたからよかった。
- ◇自分の思いを堺市教育委員の人に言えてすごい体験だった。
- ◇これからもっと堺市の教育がよくなってくると思い安心した。
- ◇できないものもあるけど、できそうなものを考えてやってくれるからすごいと思った。すごい楽しかった。
- ◆今回の授業は自分の思いを伝えられるような感じで楽しかった。自分はいつも発表したいけど自信がなくてできないことがあるため、自分の思いや考えが伝わるとうれしい。
- ◇このみんなの考えが叶ったらいいと思うし、自分なりの考えを否定せずに聞いてもらえてうれしかったです。
- ♦いつもの授業では考えないことを考えれて楽しかった。
- ◇事務局の人はみんなのために色々な工夫をしていたりしていてすごかったし、これからもっと学校を楽しみたいと思った。

## 次期計画策定に向けた本市の取組(2)



## 学校現場の教員と教育委員会事務局の職員との意見交換(WG)

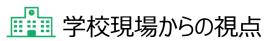
目的

- ・次期計画に、現場で働く教員の意見や思いを取り入れるために、協働的に次期計画を作成する。
- ・市の教育方針や目標を、「自分事」または「自校の事」として捉え、市全体で教育ビジョンを共有する。

方法

- ・学校園から推薦された教員がワーキンググループ(WG)に参加。
- ・できるだけ**教員の負担を減らすため**、オンラインミーティングも含めた**ハイブリッド型のミーティング**を計画。

ワーキンググループ (WG) での意見交換 (構成:幼・小・中・高・支援学校から30名、事務局19名 計49名)

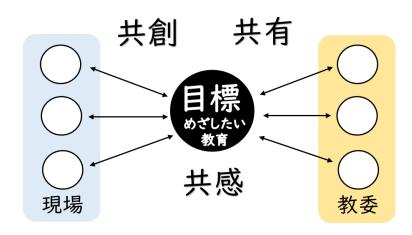


- ・めざし"たい"こども、学校、教職員の姿
- ・現場の困り感、課題感



#### 教育委員会事務局からの視点

- ・本市、各部課の課題感
- ・市民にとってもわかりやすいものか
- ・めざすべき方向性と、各種施策、成果指標、指標達成が可能な取組か、ロジックが成り立っているか



#### 共に作り上げるプロセスを通じて、

教委事務局と学校園が同じ方向・目標をもち、それ ぞれの立場で取り組む。

教育プランを「渡されるもの」から、「**自分たちで考え、** 作り、実行していくもの」へ

12

# ワーキンググループの活動(3つの分科会に分かれての取組)

第0回 (オンライン) 第1回(2月、3月)

第2回以降(令和7年度)



それぞれのテーマにつ いて、勤務する中で感 じていることや考えて いることを共有する。

#### ねらい

- ・テーマを「身近」な内容 に落とい込む
- ・課題観や教育観の違い や同じところを共有し、 スタート地点を揃える

# ゴールの() 明確化

各テーマのゴールにつ いて共通理解し、 めざしたいゴールを明 確化・具体化する。

#### ねらい

- ・テーマの先に見るこども、 教員、学校のイメージを より具体に共有する
- ・同じゴールに向けて、③ の活動に進めるように共 通理解を深める

#### (3) 具体的な人 活動·取組

②のゴールに到達する ために、具体的にどの ようか活動や取組が 必要なのか提案する。

#### ねらい

- ・ゴールに向かって着実に 進めるような道筋を立て る
- ・理想を現実により近づけ るために、どのようなこと が可能なのか、または難 しいのかを共涌理解する

③の活動・取組をどの ように評価できるのか、 評価方法や指標につ いて考え、提案する。

#### ねらい

- ・市の施策として、達成 度や進捗を評価する方 法を理解する
- ・どのような方法なら、 学校園や事務局のよい 取組が認められ、評価 されるのか議論する



# ワーキンググループミーティングの概要

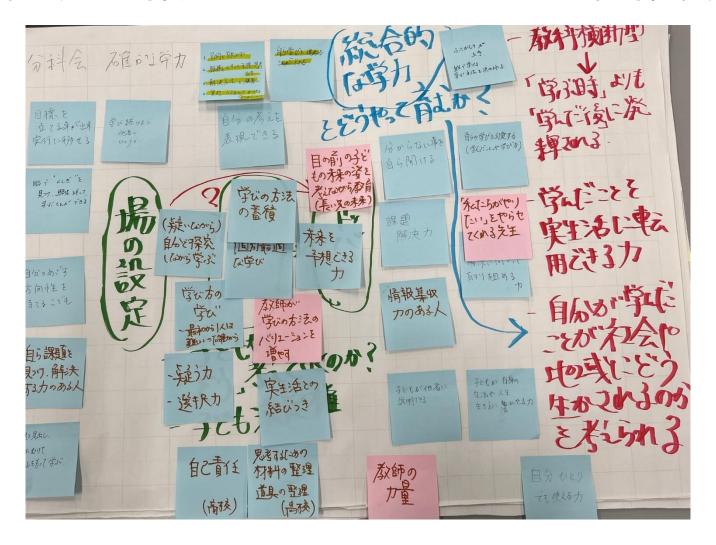


各分科会の議論テーマ A分科会 確かな学力 豊かな心 健やかな体 B分科会 C分科会 誰一人取り残さない教育 学校マネジメントカ 社会で支えるこどもの育ち こどもの安全・安心

# ワーキンググループミーティングの概要



# 分科会ごとに議論テーマに沿ってワークショップ型で協議を実施



例)A-1分科会の協議内容

#### 確かな学力 に向けためざしたいゴール (第1回WGより)

# 自ら学びを進めることができる力のあるこども



どのように達成・進捗を評価するのか



成果指標の目標達成によりゴールの実現

# 指標の提案

### こども

経年での成長

#### 教室の外での活用、 能力の発揮 (こどもも教員も)

自分のよいところを出す

場面はありますか。

#### 教員が自身の教育・授業を ふりかえるアンケート

教員

#### 社会への興味関心

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

国·算(数)

自ら計画

学校の勉強は将来 役に立つと思う。

自分で課題を立て、学習 活動に取り組んでいる

堺市学調での学力の伸び

ニュースや社会情勢 の内容がわかるように なった(関心がある) 問いを見つけ、問題解決のために、自分で方法や計画を立て取り組むことができる。

自分で修正(調整・コントロール)しながら 目標に根気よくつきすすむ 学びのコンパスの探究サイクルの矢印を大きくする工夫を しているか



どのような取組により、成果指標の数値を向上させるのか



取組の実施、充実により、成果指標の数値が向上

# 取組の提案

### 評価 授業が変われば評価が変わる

生徒の評価方法を大きく転換する必要がある。学びのコンパスを意識した授業改善を進めていくと評価の方法で悩むと思う。既存の定期テストやレポート課題の内容を大きく見直す必要がある。

#### 授業 意識が変われば授業が変わる

こども自身がどういう課題をもって、その取組がなされているのか、 どんな生徒をめざして学習を進 める必要があるのか知っておくべ きであり、その周知

学びのコンパスの考えにもとづく、こどもに学びをゆだねる 授業づくり、授業改善(改革)

○年次研修のような与えられた研修をやらされているように感じている教員が多いように感じる。研修を人事評価に組み込み、ポイント制にし、幅広い研修から自分が受講したいものを受講できる制度の構築。

指導教諭及び研修主任のあり方の再考。研修の盛んな学校、そうでない学校があり、研修主任の手腕によって、内容が大きく変わる。流動的な時代に教員が対応するためには、リーダーシップや見通しを持てる指導教諭、研修主任を配置する。

非認知能力の育成

#### 意識 少しのきっかけでこどもが変わることを教員が実感

保護者意識を変える(教科学力だけではない)

教員間でこどもの 変化を伝えあう こどもにつけたい力 の見通しを持つ こども観・指導観 の見直し

教員の授業観や教育観をはっきりと転換する必要がある。 意識改革を行えるか(今までの教育

意識改革を行えるか(今までの教育 観から離れられない。) 16

### 豊かな心 に向けためざしたいゴール (第1回WGより)

# 社会に明るく進んでいけるこども

# 未来を明るく語れるこども



どのように達成・進捗を評価するのか



成果指標の目標達成によりゴールの実現

# 指標の提案

# 自分を大切に思う

自分のことを大切だと思う

夢、希望、なりたい人物像、 職業がある

自己肯定感、自己有用感、 自尊感情を図る質問紙

失敗をおそれず挑戦している

## 他者を大切に思う

人が困っているときは進んで助けている

人の役に立ちたいと思う

人と協力して取り組むことは大切であると 考える

困ったときは他者と協力すれば乗り越える ことができると思う

伝えたいことを伝えたり表現できる

自分の良さを知り相手と認め合う

人権感覚を測る調査

# 社会を大切に思う

課題があれば解決したいと 思う

地域・社会の役に立ちたいと思う

世界の人とつながりたいと思う

他者と話すのは楽しいと思う

協力して取り組むことは 楽しいと思う



どのような取組により、成果指標の数値を向上させるのか



取組の実施、充実により、成果指標の数値が向上

# 取組の提案

教員からこどもへの声掛けや関わり

不適切行動だけではなく適切(良い)行動を認める声掛け

教員の資質や指導力を高める研修 (声掛け実例など) 研修で方向性の統一

> キャリア教育との連携 キャリアパスポートの活用

> > 保護者や教員への 勇気付け

こどもの良い所を見つける、 認めるためには教員自身の 自己肯定感の向上も必要 教員同士 でよい所を 伝え合う

#### 自分ごととして 考える

多様な価値観を持つには 新しい人との出会いが必 要(学校間での交流)

多様な人がいるということを知る経 験 (ルーツや文化)

体験→気づき

異文化を知る機会の創出 (ゲストティーチャーの活用)

オンライン英会話など世界や文化 とつながる体験

国や市の多文化共生の取 組を学校へ一本化して周知、 実施校をシステム化 他者を尊重して 関わる

友達の困りごとを学級や社会の全 体のこととして考える取組

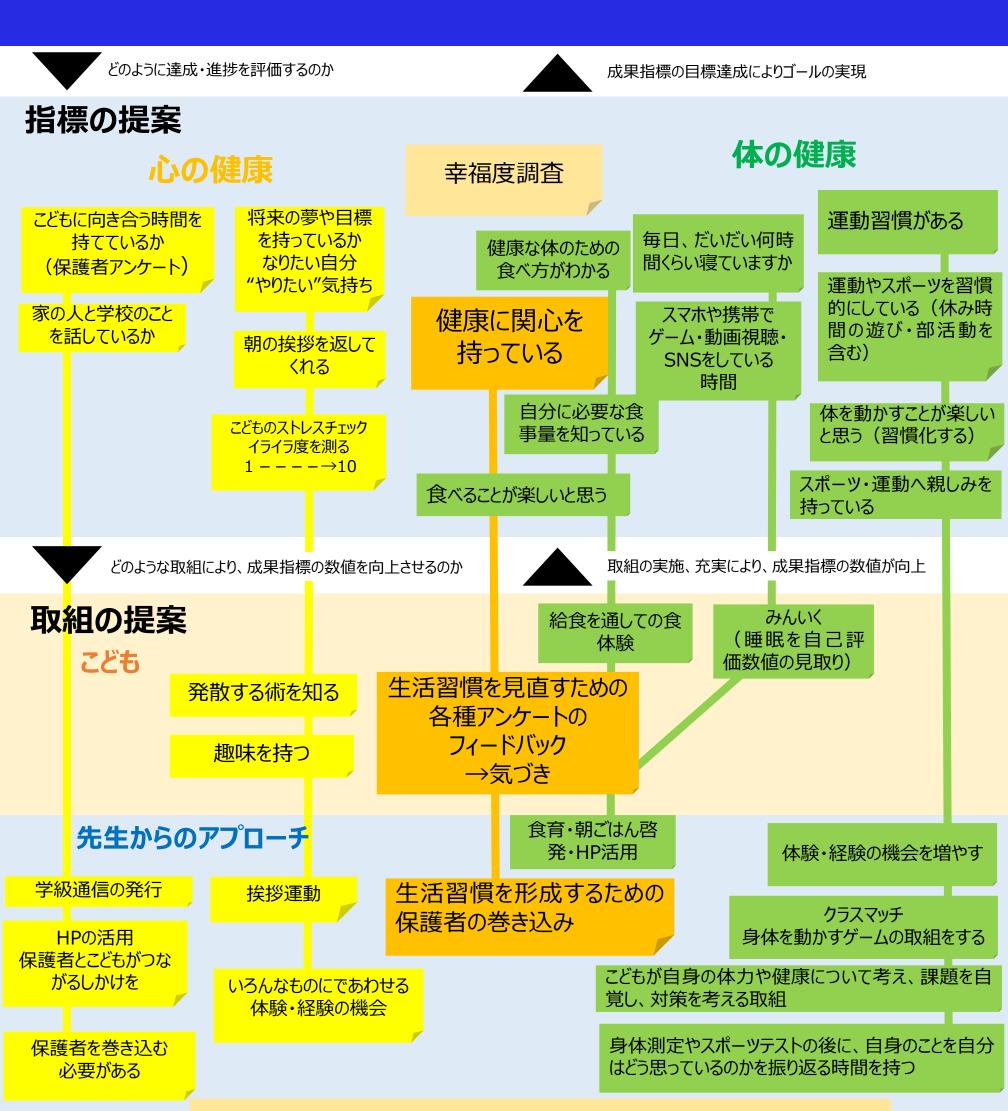
深い思考や豊かな交流のため言語能力の向上

スマホやSNSのルール

人権教育と道徳教育を授業に加えて教育活動に落とし込み、学校群で共有

### 健やかな体 に向けためざしたいゴール (第1回WGより)

# 心身の健康を自ら育み守れるこども



こどもの安全・安心 に向けためざしたいゴール (第1回WGより)

# 「居場所」と「学びの場」という基礎・土台の確保及び、

# 多方向・多方面との連携、連携によって充実させられる取組を行う



どのように達成・進捗を評価するのか



成果指標の目標達成によりゴールの実現

# 指標の提案

危険な場合に遭遇し た時にどうすればよい か分かる (こどもアンケート)

> 「いじめがあったときに、" どうすればよいか"を学ん でいる」の質問への肯定

講座後formsで、統一した 質問を実施 (知識・思考)

(例:友達の写真を無断でUPしては いけない)など

自己決定の学校風土が あるのか

各支援学校の適正規模 が示され、差が相違ない

诵級設置率

(小・中ともに100%をめざす。 できれば自校で)

> 支援学校は安心・安全な 環境が設定されている。 (保護者アンケート)

的な回答数

どのような取組により、成果指標の数値を向上させるのか

取組の実施、充実により、成果指標の数値が向上

# 取組の提案

防犯対策

見守りを保護者任 せにしない。 業務外の仕事、誰 がする?

いじめ防止対策訓練

シミュレーションでの学習 (実施方法は注意する必要あり)

> 学校以外の 「学びの場」の設定と オープンな情報公開

学校以外の

「学びの場」を知って

いるか (認知率)

ネットトラブル防止

学校外のネットトラブル 他に相談する場所など啓発 学校の生徒数の 上限を明示

百舌鳥支援学校の 過密化、老朽化

その他意見(指標&取組)

- ・就学援助補足率 100%
- ・つながりを広げる授業・取組
- ・こども食堂などのリソースの充実
- ・地域とのつながり
- 窓枠が落ちてこない
- •不良箇所改修100%(年度末)
- •専門家の施設点検

公教育以外の選択肢を (教員も) 保護者が知る 機会がある

スプリングポートなどリソースを 使用するハードルを下げる (提出資料など)

支援学校設置計画の提示

こどもの人数に応じ特別支援教育 コーディネーターや生徒指導の担 当人数を明示

19

#### 誰一人取り残さない教育 に向けためざしたいゴール(第1回WGより)

# 社会に出たときに働きつづけるこども 社会とつながりつづけるこども 学び続けられる教員・環境 つながろうとする教員

連携がある学校



どのように達成・進捗を評価するのか



成果指標の目標達成によりゴールの実現

# 指標の提案

学校に行くことは楽しいと回答する児童生徒の割合

不登校のこどもと学校が定期 的につながりを持てている スクールソーシャルワー カー、スクールカウンセラー の稼働率、継続率

交流の取組(小学校同市の学習交流、 小中での体験交流など)の実施数

「相談できる人がいる」と回答する児童生徒の割合

自校以外の学校園や機関と定期的に 連携の機会があると答えた学校園数

支援学校における教員の特別支援の免許保有率100%

こどもが学校で会話している時間、会話できる人数

学校の課題を教員が自分事として 捉えているか

支援学級において、障害種別の学級を設置 (在籍が1人でも) 100% 関わり度合いが可視化される指標 こどもの教員や友だちとの関わりの度 合いや広ま、深まを測れる方法は何

合いや広さ、深さを測れる方法は何かあるのか。

自己研鑽できる時間が確保されている

複数特別支援教育コーディネーターの体制をひいている学校数

どのような取組により、成果指標の数値を向上させるのか

取組の実施、充実により、成果指標の数値が向上

取組の提案

社会で通用する自己指導能力の育成

学び続けられる環境がある

中学校支援学級の 教員体制 放置されやすい"まじめ"なこどもが 放置されないように 校内システムの構築 福祉・行政・医療等との連携

学びの場の見直し

特別支援教育コーディネーターや生徒指導主事を中心とした他校や他機関との連携

特別支援教育コーディネーターの複数体制と業務の分担

特別支援教育コーディネーターの業務の負担軽減 (学校規模や業務内容に応じて主幹のような時間軽減 を市独自で設定するなど)

行政の垣根を越えて福祉機関等との定期的な情報 交換の場の設定

#### 学校マネジメントカ に向けためざしたいゴール (第1回WGより)

# 時間や精神的に余裕のある体制

(相互支援・相互理解ができる組織)



どのように達成・進捗を評価するのか



成果指標の目標達成によりゴールの実現

# 指標の提案

生徒指導等にかけている時間(生徒指導を少なくする)

対応する教員数(学校群の活用を含む)

<mark>ノークラブデーの</mark> 実施率

余裕ある時間の確保

どのような取組により、成果指標の数値を向上させるのか

# •

取組の実施、充実により、成果指標の数値が向上

# 取組の提案

部活動の外部人 材の活用

# ルール化・マニュアル化

保護者対応の ルール化

"暴力"に関する ルールづくり

学校安心・安全ルール

#### 業務量等の見える化

報・連・相ツール、 メールや掲示板、 teamsの活用 行事や"伝統"の見直し (前例踏襲×)

各校実態に合わせた働き方改革

- ・留守電対応の時間の統一
- ・教員が対応すべき勤務時間前後の線引き
- ・自分のペースに合わせた勤務時間
- →My 定時

メンター・メンティー制度 立候補制で、定数は決めない。 若手教員を気にかけている先生は 多くいる。

# 管理職のマネジメント

教員の持ち授業時数

助けを求められる教員数

全教職員対象に働き方 改革、学校マネジメントに 関してのアンケートの実施

マネジメントシートに管理職の働き方改革の意識についての項目を加え、任意提出ではなく全員提出に持っていくことはできないか

# 学校群

学校群のしくみを活用 した業務改善が実施さ れているか

学校群で教材研究を 協力して進めている数

不祥事 0

全市的に働き方改革についての意識を統一する。

(「教材研究を怠って早く帰る のはだめだ」のような古い固定 観念からの脱却)

#### 管理職研修の充実

他市を参考に授業時数の上限を定める。

(八王子市では総授業実数は標準授業時数に18時間を加えた時数を上限としている)

システム改修 学校群内共有フォルダなど 現在のICT活用チーム(teams 内)を参考に。いい実践を共有。 不祥事案件を自分事で捉えるために、

各校で「個人情報」「わいせつ」「飲酒運転」「体罰」などの各事案について研修担当者を割り振り、教員が他の教員に研修を行うようなプログラムがあってもよい。または学校規模で、不祥事防止指定校の指定、他の学校へ発信するなど。事務局→学校へという構図にこだわらない。

#### 考えられる不祥事の原因

- ・当事者の趣味嗜好 (対応困難)
- ・モラル問題(研修が有効か)
- ・しくみの問題(調査書の外国語の位置など)
- ・日々の多忙さ(余裕のある体制の必要性)

21

### 社会で育てるこどもの育ち に向けためざしたいゴール (第1回WGより)

# 相互支援・相互理解ができる体制・関係



どのように達成・進捗を評価するのか



成果指標の目標達成によりゴールの実現

# 指標の提案

# 連携

# 生涯教育

地域人材の活用 (スクールサポー ターなどさまざまな 場面で)

堺市内の施設 (博物館等の利活用)

堺版コミュニティ・ス クールの実施校数

図書館と学校の連携状況

- ・団体貸し出し
- ・読書支援の数など

### 保護者

# 関係性 学校

学校群

学校の働き方改革の取 組に対して肯定的に捉え ている、また多忙感を理 解している保護者の割合

教職員と保護者 (地域)の関係 ができている

お互いの状況を しっかり理解しあう 地域・学校が行 事(イベント)に ついて話し合う場 がある



どのような取組により、成果指標の数値を向上させるのか



取組の実施、充実により、成果指標の数値が向上

# 取組の提案

ボランティア人材の確保の工夫

学校群を活用した人材の確保

地域資源を知る 周知する、使えるこ とを知らせる

事務局代表(局長級)、学校代表(代表校長、 代表教頭、指導教員など)、自治会長(代表的な 方)、PTA会長(各区1名程度)、各区長の5者 間での協議や会議を実施し、お互いの立場から意見 を伝え合う。また、地域だけでなく、市長部局内の関 連課も関わるように。

地域と学校が協働的にこどもたちの支援をするように、 お互いの理解をより含める。全市的に、学校と地域で の役割分担を(できること、できないことを含めて) 明確にし、統一したい。家庭も含めて。

学校、地域、家庭のどこか一つに負担が偏らないよう

マイスタディのような取組の復活 地域人材の積極的活用

図書館の活用方法を学校 (教員、児童生徒) へ周知

に協働するにはどのようにしたらいいのか・・・

地域行事 教職員にも地域にも家庭にもメリットがあるといい



# こども

# ワーキンググループ

出前授業後に、クラスごとの意見をまとめた資料を学校に提供。自分たちの意見を振り返ることができるようにフィードバックを実施。

teamsを用いて、ワーキンググループの各グループの協議内容、意見を共有。



+**生徒会** リーダーフォーラム



教育委員会事務局で、意見の整理、調整後、次期計画への反映について検討・協議



どの意見がどのように次期計画に反映されるのかをこども、学校園にお示し

意見を集めたままにするのではなく、集めた後にどのように本市教育に生かされるのかを、 こどもや学校園に伝え、意義ある取組に



# 次期堺市教育振興基本計画の体系について

# 「わかりやすさ」「読みやすさ」を意識した改定



学校現場、事務局だけではなく、こどもや保護者、市民など**「誰が読んでも理解ができる、納得できる」**ように、「わかりやすさ」「読みやすさ」を意識した改定を行う。

基本的方向性及び基本施策	簡易版冊子の作成	全体構成について
統合 基本的方向性 5 基本施策 16 基本的方向性 3 基本施策 9	本編 概要版 NEW こども 向け 簡易版	全4章+参考資料 113ページ ページ数の削減により 読みやすいボリュームに
第3期プランでは、5つの基本的方向性に16の基本施策を紐づけている。 次期計画では、 <b>基本的方向性を「こどもが身に付けてほしい力」、「こどもの学びを支える教師・学校の姿」、「こども、学校を支える教育環境の整備」の3つに整理し</b> 、より理解しやすいものをめざす。	次期計画では、 <b>こども向けの簡易 版冊子を作成</b> し、こどもが内容を理解できるようにする。	全体の構成は大きく変更しないが、ページ数を可能な限り削減し、誰もが「これなら読める」と、手に取りやすいページ数での作成をめざす。



# 教育理念 ひとづくり・まなび・ゆめ

# 堺市のめざす教育像

**こども像** それぞれの世界へはばたく"堺っ子" **学校像** こどもの未来をつくる学校 **教員像** 情熱・指導力・人間力を備えた教員

上記目標達成のためにめざすもの

# 未来を切り拓く力の育成

#### 基本的視点

ウェルビーイング・教育DXの推進・新たな学校のあり方

### 3つの基本的方向性

こども 教師・学校 教育環境

9つの基本施策

# 教育理念、めざす教育像、基本的視点



#### 第3期未来をつくる堺教育プラン

(仮称) 第4期未来をつくる堺教育プラン ~未来を切り拓く力の育成~

教育理念

「ひとづくり・まなび・ゆめ」

「ひとづくり・まなび・ゆめ」

めざす教育像

※教育理念・めざす教育像の 具体的な内容については、更新 することを検討中

- (1) めざす子ども像 「それぞれの世界へはばたく"堺っ子"」
- (2) めざす学校像「子どもの未来をつくる学校」
- (3) めざす教員像 「情熱・指導力・人間力を備えた教員」



- (1) めざすこども像 「それぞれの世界へはばたく"堺っ子"」
- (2) めざす学校像 「こどもの未来をつくる学校」
- (3) めざす教員像 「情熱・指導力・人間力を備えた教員」

# プラン推進の基本的視点

- (1) 縦につながる教育の推進
- (2) 横にひろがる教育の推進

- (1) ウェルビーイング
- (2)教育DXの推進
- (3) 新たな学校のあり方

## 体系整理のポイント



### プラン推進の基本的視点

- (1) ウェルビーイング
- (2) 教育DXの推進
- (3) 新たな学校のあり方
- ○全施策を通じて共通となる事項(ウェルビーイング・教育DXの推進・新たな学校のあり方)については<u>施策体系に組み込まず</u>、全施策に共通する基本的視点として位置付ける。
- (1) ウェルビーイングの実現とは、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなることであり、教育を通じて日本社会に根差したウェルビーイングの向上を図っていくことが求められる。(国の第4期教育振興基本計画)
- (3) 新たな学校のあり方は、中学校区にある小学校と中学校を「学校群」という1つのチームと考え、9年間を見通した"つながる教育"の実践をめざす。

### 体系整理のポイント

- ○第3期プラン及び「子どもたちの未来のために~Change & Challenge~」で掲げる「未来を切り拓 〈力」をこどもに育むために、3つの基本的方向性とそれに紐づく9つの基本施策を推進する。
- ○全ての方にとっての「わかりやすさ」「読みやすさ」を意識し、誰が・何をするのか読んでイメージできるものとするため、**基本的方向性を「こどもが身に付ける力」・「こどもの学びを支える教師・学校の 姿」・「こども、学校を支える教育環境整備」の3つに分けて整理する。**

# 基本的方向性1



#### こどもが身につける力

こどもが心身を成長させ、自ら学び、考え、判断し、行動できる力を育む教育を進めます

プラン推進の
基本的
視点

ウェルビー イング

教育DX の推進

新たな学 校のあり方

基本施策	主な取組の要素(案)
1 確かな学力 自ら学び、考え、判断し、行動できる力に加え、グローバルに活躍できる力、情報活用能力、その他新しい時代に必要となる 資質・能力を育てる。 【ゴール】自ら学びを進めることができる力のあるこども	■「学びのコンパス」に基づいた授業改善 ■グローバル化に対応した人材の育成(英語教育、子ども堺学、国際理解教育、情報活用能力の育成) ■教科等横断的なかりキュラムの充実 ■読解力の向上に向けた取組 ■学校図書館の効果的な活用(小・中・支援学校への学校司書配置、市立図書館との連携) ■各種学力調査の活用の推進 ■探究的な学びの充実 ■家庭学習習慣の形成 ■ゆめを実現する高等学校教育の推進 ■幼~高 縦横につながる連携・接続への取組、幼保小連携・架け橋期のプログラム ■デジタル教科書、教材、学習支援ソフトの活用に向けた取組の推進
2 豊かな心 自分のよさや可能性を知り、多様な価値観を認め、相手の立場を思いやり大切にし、自分たちの未来へ希望が持てる豊かな心を育てる。 【ゴール】社会に明るく進んでいけるこども、未来を明るく語れるこども	<ul> <li>豊かな情操を育む取組の充実(道徳教育、堺・スタンダード)</li> <li>人権教育の推進(人権教育、性暴力被害の防止、いじめの未然防止、安全教育、情報モラル教育)</li> <li>■キャリア教育の充実</li> <li>・読書活動の推進</li> <li>■体験活動(文化芸術・自然・スポーツ・社会)の充実</li> <li>■地域や企業と連携した取組による体験・交流活動の推進</li> </ul>
3 健やかな体 自分の健康に関心を持ち、正しい知識をもとに、目標に向かって自己改善と良い習慣を継続することができ、生涯にわたり主体的に心身の健やかさを育てる。 【ゴール】心身の健康を自ら育み守れるこども	<ul> <li>■体力向上(大学と連携した体力向上モデル実施)</li> <li>■食育の推進</li> <li>■基本的な生活習慣(保健指導の推進、睡眠教育、スマホ使用時間)</li> <li>■学校給食の提供を通した健康な体の育成・体力の向上</li> <li>■運動に親しむこどもの増加に向けた取組</li> <li>■保健指導の推進</li> </ul>

# 基本的方向性2



#### こどもの学びを支える教師・学校の姿

誰一人取り残さず、こどもの学びを支えます

#### プラン推進の 基本的 視点

ウェルビー イング

教育DX の推進

新たな学 校のあり方

実現

基本施策	主な取組の要素(案)	
4 学校マネジメント力 R-PDCAサイクルを活用した教育課程の継続的な改善を基盤に、教職員の資質・能力の向上、働きやすく働きがいのある職場環境の整備、業務の効率化・適正化を推進する。また、未来をつくる堺の誇り(PRIDE)により不祥事ゼロをめざす。 【ゴール】すべての教職員と児童生徒が安心して学び、働き、成長できる学校の実現	■働きやすく「働きがい」のある学校の実現 ■教員業務支援員等の効果的な配置 ■小小、小中間の連携による校務の効率化 ■時間的・精神的に余裕がうまれる校内体制、マネジメント ■不祥事の未然防止対策の徹底(未来をつくる堺の誇り) ■R-PDCAサイクルによる学校経営の推進・教育課程の充実 ■教員研修の充実 ■優秀な教員の確保と教員養成期を含めた人材の育成に向けた大学等との連携 ■こどもの意見が反映される学校マネジメントの推進	
5 誰一人取り残さない教育 社会とつながりながら成長するこどもたちを育むために、こどもの多様な個々の状況や思いなどに対応することができる教員の専門性や指導力の向上と、それらを可能にする教育環境の充実や関係機関との連携・協働により、こどもの学びの機会を保障し、多様な学びの場と学習方法を提供する。 【ゴール】社会とつながりながら成長するこどもたちを育むために、学び続ける教員、つながろうとする教職員、それらを支援する環境や連携がある学校の実現	■不登校等のこどもへのサポート(ICTの効果的な活用) ■特別支援教育の充実 ■日本語指導(日本語指導が必要なこどもへのサポート)の充実 ■中学校夜間学級による教育の充実	
6 こどもの安全・安心 学校がそれぞれのこどもにとって身体的、精神的に安心できる場となり、それを土台に学校が多様な主体と連携しながらこどもの安全・安心を支える取組を進める。 【ゴール】安全・安心な居場所という基礎・土台の確保と、多様な主体との連携によってこどもの安全・安心を守る学校の	<ul> <li>■校内教育支援教室・校内教育相談体制の充実</li> <li>■安全・安心でおいしい学校給食の提供</li> <li>■登下校における交通安全や防犯対策</li> <li>■いじめの未然防止、いじめ対応の徹底</li> <li>■学校安全の推進</li> <li>■児童虐待への迅速かつ適切な対応</li> <li>■性暴力被害の防止(教職員研修)</li> </ul>	

# 基本的方向性3



#### こども・学校を支える教育環境の整備

こども中心に取り巻くすべての人が連携・協働し、豊かな学びを支える教育環境を充実させます

プラン推進の
基本的
視点

#### ウェルビー イング

#### 教育DX の推進

#### 新たな学 校のあり方

基本施策	主な取組の要素(案)
7 教育環境の充実 学校規模の適正化や、体育館空調・トイレ等の学校施設の 計画的な整備、点検・保守・改修等を行い、すべてのこどもや 市民にとって安全・安心で過ごしやすく、学習や活動の取り組 みやすい教育環境の充実をめざす。 【ゴール】すべてのこども、教員が適切かつ効果的に学習を行 うことができる環境の充実	■学校規模及び学校配置の適正化 ■学校施設・設備の計画的な整備 ■学校のICT環境の維持・最適化
8 こどもを取り巻く社会的課題への対応 社会で起きている様々な課題の中でも、特にこどもを取り巻く 社会的課題へ対応するため、他機関等との連携・協働により、 支援体制を整備する。 【ゴール】こどもを取り巻く複雑かつ多岐にわたる社会的な課 題に対応するための体制の整備	<ul> <li>■教育の機会均等に向けた経済的負担軽減の取組を推進(就学援助、堺未来応援奨学金等)</li> <li>■不登校のこどもへのサポート(教育支援教室、不登校支援ネットワーク)</li> <li>■学校外の相談体制の充実(教育相談、区役所の教育相談、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー、いじめ不登校対策支援室、支援教育課、いじめネット相談窓口等)</li> </ul>
9 社会で支えるこどもの育ち 学校・家庭・地域がつながり、多様な機関や団体と効果的に 連携・協働を行うことで、学校教育だけでなく生涯学習の観点 も含めて社会全体でこどもを育む取組を充実させる。 【ゴール】相互支援・相互理解ができる地域とのつながりの醸成	<ul> <li>■地域住民や多様な機関・団体等との連携・協働(市役所内の部局間連携、市役所外の多様な主体との連携、学校や教育活動に関する情報の公開と発信による信頼の構築)</li> <li>■堺版コミュニティ・スクールの推進</li> <li>■地域学校協働活動</li> <li>■市民の学習支援(図書館サービスの充実、読書活動の推進、学校施設の開放、教育CSR推進事業、科学に関する市民の学習支援)</li> <li>■中央図書館の再整備</li> <li>■家庭教育支援</li> <li>■社会教育関係団体(PTAやこども会など)の諸活動への支援</li> <li>■部活動の地域連携・地域展開</li> <li>動放課後児童対策等事業の推進</li> <li>■地域産業・社会に貢献する高等学校教育の推進</li> </ul>





# 次期堺市教育大綱

#### 基本理念

未来を切り拓き、

個々の幸せを実現する堺の教育

○ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものである。また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念である。(第4期教育振興基本計画より)

# 次期堺市教育振興基本計画

(仮称)第4期未来をつくる堺教育プラン ~未来を切り拓く力の育成~

#### 教育理念

ひとづくり・まなび・ゆめ

豊かな心の 人づくり 確かな学びの 形成 ゆめをはぐくむ 教育の推進

#### プラン推進の基本的視点

- (1)ウェルビーイング
- (2) 教育DXの推進
- (3) 新たな学校のあり方



# 次期堺市教育大綱

#### 重要方針

I 堺の歴史文化を受け継ぎ、広い視野を身につけ、自ら未来を切り拓く

Ⅲ 自分を大切にし、違いを認め合い、 ともに成長する

Ⅲ 児童生徒、教員の力を伸ばす

# 次期堺市教育振興基本計画

#### 基本施策

- 1 確かな学力
- 2 豊かな心
- 3 健やかな体
- 4 学校マネジメントカ
- 5 誰一人取り残さない教育
- 6 こどもの安全・安心
- 7 教育環境の充実
- 8 こどもを取り巻く社会的課題への対応
- 9 社会で支えるこどもの育ち



# 次期堺市教育大綱

#### 重要方針

- I 堺の歴史文化を受け継ぎ、広い視野を身につけ、自ら未来を切り拓く
- ◆堺の歴史を知り、伝統や文化、イノベーション精神など堺の土台を継承してこどもの可能性を伸ばす
- ◆こどもが基本的な学力を確実に習得し、英語やICTなどこれからの時代に 必要な手段を使いこなす力を身につ ける
- ◆こどもが自ら考え、創造し、表現する 力を身につける
- ◆健やかな成長を支え、創造的に活動 をする心と体を育む

# 次期堺市教育振興基本計画

#### 基本施策

#### 1 確かな学力

**自ら学び、考え、判断し、行動できる力**に加え、**グローバル に活躍できる力、情報活用能力、その他新しい時代に必要となる資質・能力**を育てる。

#### 2 豊かな心

自分のよさや可能性を知り、**多様な価値観**を認め、相手の立場を思いやり大切にし、**自分たちの未来へ希望が持てる**豊かな心を育てる。

#### 3 健やかな体

自分の健康に関心を持ち、正しい知識をもとに、目標に向かって**自己改善と良い習慣を継続**することができ、**生涯にわたり主体的に心身の健やかさ**を育てる。



# 次期堺市教育大綱

#### 重要方針

- Ⅱ 自分を大切にし、違いを認め合い、 ともに成長する
- ◆こどもが自他ともに尊重できる心を養う
- ◆いじめや児童虐待への対応を強化する
- ◆すべてのこどもの置かれた状況に関わらず、学びの機会を確保する

# 次期堺市教育振興基本計画

#### 基本施策

#### 2 豊かな心

**自分のよさや可能性**を知り、**多様な価値観**を認め、相手の立場を思いやり、大切にし、自分たちの未来へ希望が持てる豊かな心を育てる。

#### 5 誰一人取り残さない教育

社会とつながりながら成長するこどもたちを育むために、こどもの多様な個々の状況や思いなどに対応することができる教員の専門性や指導力の向上と、それらを可能にする教育環境の充実や関係機関との連携・協働により、こどもの学びの機会を保障し、多様な学びの場と学習方法を提供する。

#### 6 こどもの安全・安心

学校がそれぞれのこどもにとって**身体的、精神的に安心できる場**となり、それを土台に学校が多様な主体と連携しながらこどもの安全・安心を 支える取組を進める。

#### 8 こどもを取り巻く社会的課題への対応

社会で起きている様々な課題の中でも、特にこどもを取り巻く社会的課題へ対応するため、他機関等との連携・協働により、**支援体制を整備**する。



# 次期堺市教育大綱

#### 重要方針

#### Ⅲ 児童生徒、教員の力を伸ばす

- ◆児童生徒にとって効果的な教育環境を 構築する
- ◆熱意と指導力を持つ教員を育成する
- ◆こどもの学びや育ちを支える

# 次期堺市教育振興基本計画

#### 基本施策

#### 4 学校マネジメントカ

R-PDCAサイクルを活用した教育課程の継続的な改善を基盤に、教職員の資質・能力の向上、働きやすく働きがいのある職場環境の整備、業務の効率化・適正化を推進する。また、未来をつくる堺の誇り(PRIDE)により不祥事ゼロをめざす。

#### 7 教育環境の充実

学校規模の適正化や、体育館空調・トイレ等の学校施設の計画的な整備、点検・保守・改修等を行い、すべてのこどもや市民にとって安全・安心で過ごしやすく、学習や活動に取り組みやすい教育環境の充実をめざす。

#### 9 社会で支えるこどもの育ち

学校・家庭・地域がつながり、多様な機関や団体と効果的に連携・協働を行うことで、学校教育だけでなく生涯教育の観点も含めて社会全体でこどもを育む取組を充実させる。